保全活動日記 vol.22

2018 年 6 月 3 日（日）

保全活動実施報告

- 実施日：2018 年 6 月 3 日（日）
- 時間：9 時 00 分～ 11 時 00 分
- 天気：晴れ
- 参加人数：48 名
- 活動内容：　当日は竹林エリアのハチクの間伐と、南西草原エリアの草刈り及び外来種であるアメリカオニアザミの除去などを行いました。また、泉大津高校の生徒も活動に参加してくれました。

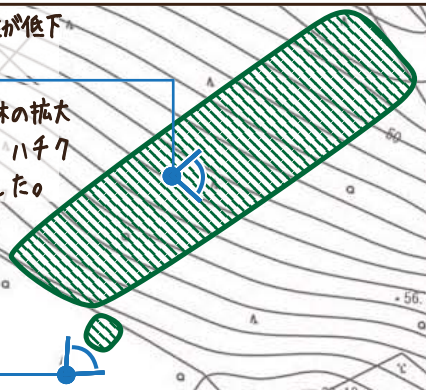
活動実施場所（ハチクの間伐）

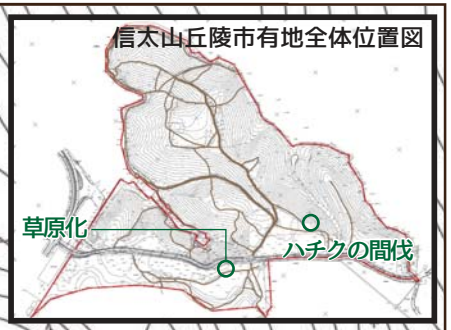
竹林は拡大すると他の植物を圧迫します。その結果、生物の多様性が低下する恐れがあります。

■ハチクの間伐

■ハチクの間伐

活動では竹林の拡大を防ぐため、ハチクを間伐しました。





↓至：市道信太５号線

活動実施場所（草原化）

活動実施場所

■二次草の復元へ

チガヤなど多様な野草が確認できるようになりました。

■外来種の除去

アメリカオニアザミは、鋭いトゲをもつ外来種です。

アメリカオニアザミ

トゲに刺さらないよう注意しながら除去しました。

↓至：惣ケ池湿地

駐車スペース

市道信太５号線

集合場所

0　10　20　30　40　50m

1:1000

凡例

▨	活動実施場所	■	市道
□	これまでの活動場所	■	散策路

多様性の高い二次草原の復元へ！

ネザサが優占する南西側草原エリアでは、多様性の高い二次草原の復元をめざして、ネザサを中心に刈取りを数年間実施してきました。

当初は人の身長を越えるネザサが優先していました。一度刈取っても再び成長するネザサですが、根気よく刈取った結果、現在はチガヤなど多様な野草が確認できるようになりました。

チガヤ

チガヤは、日本で古くから親しまれ、古事記や万葉集などにもその名が出ています。

初夏に白い穂を出す植物です。

目標とする多様性の高い二次草原の姿をメンバーで共有していきましょう

里山のトピック！

ヒメジョオンとヘラバヒメジョオン

きれいな花を咲かせる植物（外来種）です。

ヒメジョオンとヘラバヒメジョオンは見分けがつきにくいのですが、大きな違いは葉っぱの形です。

ヒメジョオンは葉の縁にある、ギザギザの切れ込み（鋸歯）が特徴です（右写真上）。

ヘラバヒメジョオンは、葉の縁に鋸歯がなく、名前のとおりヘラに似た形をしていることが特徴です（右写真下）。

虫こぶ

信太山丘陵市有地では、木の葉の一部がふくらんだこぶのようになっていたり、丸い玉ができていたりしているのをよく見かけることがあります。

その正体は昆虫や、その他の生物が寄生したためにその場所が異常に成長したものです。植物の種類や寄生する昆虫によって、色や形は違います。

ムラクモカレハに注意！

ムラクモカレハ（外来種）の幼虫は毒のトゲで覆われているため、トゲに触れると腫れてとても痛くなることがります。

アラカシやヌルデの葉の裏によくいるため作業する時は注意が必要です。

▼「信太山丘陵市有地」についての詳しい情報は、市のホームページをご覧下さい。

＼ 以下のワードで検索 ／

信太山丘陵市有地　検索

＼ QR コードで読み取り ／